

当社は、2026年3月11日、東海・東海第二発電所において、発電所構内での火災発生を想定した総合火災訓練を実施し、発電所員及び協力会社社員73名が参加しました。

本訓練では、発電所構内の建屋で火災が発生したとの想定のもと、「発電所員による火災発見及び初期対応」「発電所員で構成される自衛消防隊による初期消火及び延焼防止活動」「発電所内外への通報・連絡対応」「消防機関到着後の情報共有及び連携活動」について、自衛消防隊を中心に、実際の対応手順や情報伝達の流れを確認するとともに、発電所内における初動対応の確認・習熟を図りました。

訓練当日は、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部警防課及び笹野消防署にご協力いただき、消防機関との連携を含めた訓練を実施しました。また、消防機関からは、現場活動や連携対応に関する助言をいただき、発電所における火災対応力の向上につながる有意義な訓練となりました。

当社は、今後も消防機関をはじめとする関係機関と連携し、各種訓練を通じて対応力の維持・向上に努めるとともに、発電所の安全確保に取り組んでまいります。



現場指揮所における事前確認



東海第二発電所タービン建屋での
模擬消火活動



発電所内外への通報・連絡対応